

予算編成の考え方

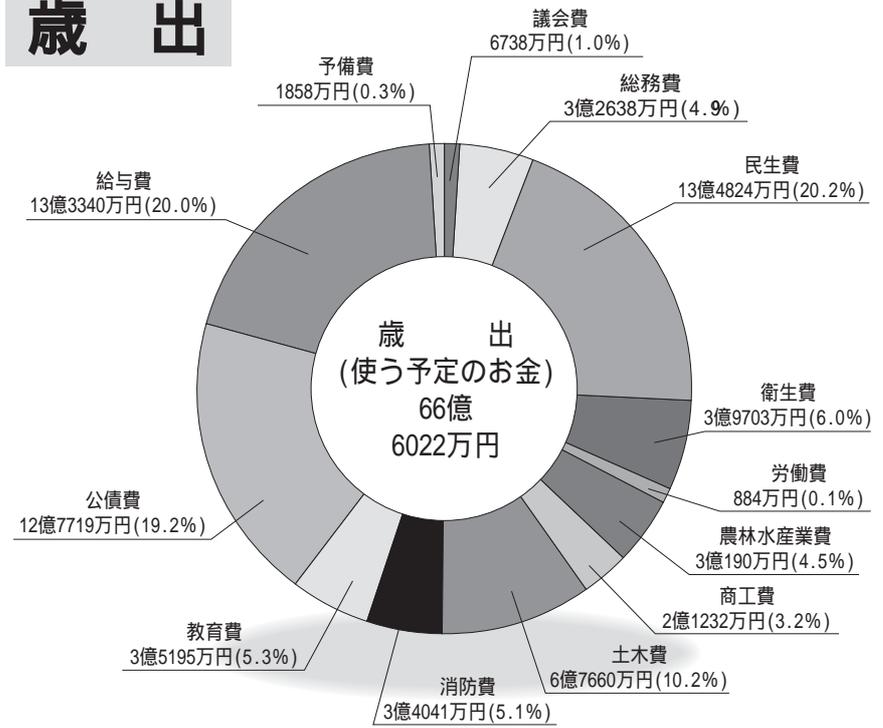
一 一般会計、各特別会計、企業会計を含めた予算総額は、104億9013万円で、前年度予算額101億4898万円に対して3・4%の増となりました。

歳入では、自主財源（自主的に収入しうる財源）の根幹をなす町税収入において、町民税、固定資産税の減額はありませんが、たばこ税の税源移譲による増額などにより前年度とほぼ同額を見込み、地方交付税については、平成24年度の交付実績から1・6%の増額を見込みました。

歳出では、公債費（借金の返済にあてるお金）が依然多額であり、償還額が大幅に減少し、さらに財政健全化計画で一層の歳出削減に取り組んだ結果、収支の改善が着実に図られています。

一方地域経済の活性化にかかると経費や普通建設事業の実施など投資的経費を増加して計上したため、財政調整基金の取り崩しによる財源補てんを行い、収支の均衡を図ることとしました。平成23年度決算で財政健全化

歳出



一般会計

一般会計予算は、66億6022万円で、前年度予算額63億5185万円に対して4・9%の増となりました。

歳入における町税、地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税等を合わせた経常一般財源

地方債(借金)の残高

(単位:万円)

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(見込)	平成25年度(見込)
一般会計	141億4461	126億9858	116億6553	107億5325	100億7164
公共下水道事業特別会計	51億2519	48億5978	45億9895	43億3271	40億6567
簡易水道事業特別会計	7億2820	6億7798	6億2876	5億8304	5億3964
水道事業会計	10億5257	9億1598	8億5795	8億8016	8億4088
合計	210億5057	191億5232	177億5119	165億4916	155億1783

基金(貯金)の残高

(単位:万円)

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(見込)	平成25年度(見込)
財政調整基金	5億3858	7億3906	9億3934	10億957	9億2064
減債基金	1億9250	1億263	1億267	1億269	1億294
その他特定基金	11億7854	11億2403	11億2413	13億6481	13億6479
合計	19億962	19億6940	21億6614	24億7707	23億8837

歳入不足を補てんするために使用することができる基金は、財政調整基金と減債基金である。

(使用道が特定されない財源のうち毎年度固定的に収入されるものは、45億3346万円で前年度1・2%の増となりました。歳出における人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費(職員の人件費や借入金の返済など)の削減が、公債費の9・4%減が主な要因となり、対前年度1・0%の減となりました。投資的経費(道路、橋りょう、公園、学校の建設などの社会資本の整備に要するもので、支出の効果が将来にわたって残るもの)に支出される経費のうち普通建設事業は、対前年度168・8%増の4億3773万円で、難視聴地区共聴新設整備事業、虻田漁港(大磯分区)整備事業、